

導かれる

黒髪山を愛し、尊び守り続ける人がいて、その景観を生業の糧とする人もまた、この山麓に集う。それは、新たな黒髪に心打たれる人を導くためだろう。

そしてまた新たな人が足を運ぶ。この連鎖は遠い未来に渡って、永遠と繰り返されていく。

これから一時、彩り豊かな紅葉に覆われた黒髪山の美を味わえる。そして、夫婦岩が脚光を浴び、人々が伝説を想像する一夜が来る。山麓に目を向ければ黒髪を愛する窯元の窯開きで、私たちは黒髪山帯の美のシャワーを溢れんばかりに享受できる。

秋の黒髪山麓を早く、体感したい。そして改めて、この山間を武雄人として誇りに思う、そう実感したいものだ。



「黒髪山の自然を守る会」は、現在顧問の馬場さんを始め3人が、山麓の景観保護をきっかけに立ち上がった。志の高い会員は今日では43名所属し、その活動は登山道整備やイベント支援など多岐に渡る。馬場さんは「もっと市民にこの素晴らしい景観がある黒髪山にもっと広く関心を持ってほしい。」と笑顔で語る。